

最新のアブレーション治療について

香川県立中央病院では、2012年4月より不整脈のアブレーション治療に取り組んでいます。おかげをもちまして治療件数は500件に達し、新病院開院以降、四国最多で推移しています。この場をお借りして感謝申し上げます。

ここでは最新の3Dマッピングシステム「カルト3・バージョン3」をご紹介します。

不整脈の視覚的な理解を可能にした3Dマッピングシステムは、アブレーション治療には必要不可欠なものとなっています（図1）。臨床のニーズに合わせて進化を続け、アブレーション治療の普及に大きく貢献しています。

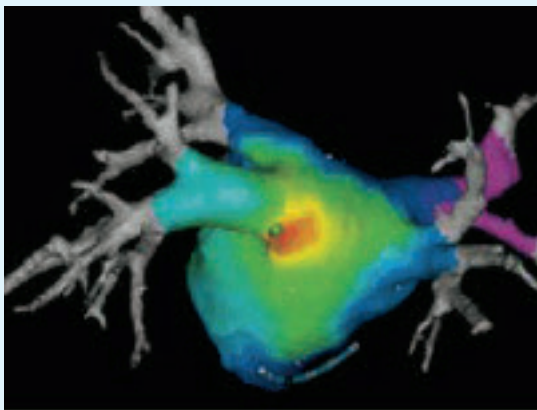


図1 3Dマッピングシステム

「カルト3・バージョン3」には、カテーテル先端の加重（コンタクトフォース）と安定性（スタビリティ）を評価する機能が付加されました。

アブレーション治療は、不整脈の原因となっている組織を高周波電流によって焼灼壊死させるものです。焼灼範囲は、高周波の出力、通電時間、コンタクトフォース及びスタビリティで規定されます。これまではカテーテルがどの位の力でどの位同じ場所に固定されているかを示す指標がなく、術者の主観に依存していました。つまり、目標部位が十分に焼灼できたかどうかは感覚的に判断していた訳です。

最新のシステムでは、初めてコンタクトフォースとスタビリティが数値化され、より確実な焼灼が可能となりました。実際の治療では、焼灼部で基準値を満たすと自動的に3D画像に赤い点がタグ付けされます（図2）。必要以上の通電とコンタクトフォースを回避できるため、治療時間は短縮し、安全性も向上しています。この効果は心房細動において顕著であり、肺静脈隔離に要する時間は平均40分に短縮し、単回治療での根治率は90%まで上昇しました。被曝線量も大幅に削減されています。

「カルト3・バージョン3」によって、患者様の受ける恩恵はさらに大きくなりました。一人でも多くの患者様が不整脈から解放されるよう、これからもスタッフ一同取り組んで参ります。

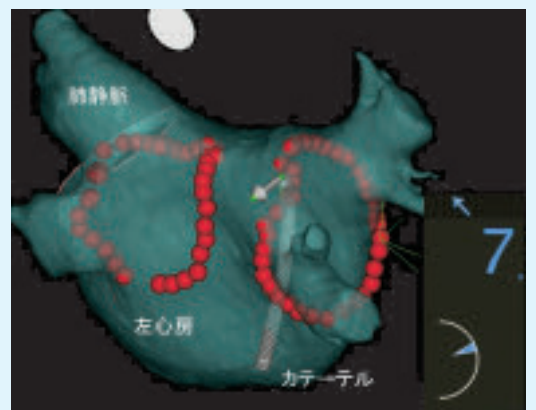


図2 肺静脈隔離術

コンタクトフォースが数値（g）で表示され、カテーテルを一定時間固定させると、赤い点がタグ付けされます。矢印はコンタクトフォースの向きを示しています。

検診センター

検診センター長 山ノ井 昭



病気の早期発見や健康管理のために、下記各種検診を行っています（完全予約制）。

1 人間ドックコース

健康管理と病気の早期発見に必要な総合的な検診です。胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がんの検診が含まれています。

2 生活習慣病コース

人間ドックより簡易な検診です。希望により各種検診を追加できます。

3 脳ドックコース

脳梗塞などの脳疾患の早期発見を目的とした検診です。MRIを中心として必要な検査を行います。

4 特定がん検診コース

肺がん、乳がん、子宮がんの個別検診です。高松市の住民検診（乳がん、子宮頸がん）も行っています。

5 PET/CT検診

PET/CT検査を使った全身の検診です。

健康はかけがえのない財産です。その健康を守り、健康寿命を延ばすお手伝いをするため各種検診を行っています。画像、その他の判定は、専門医を中心とした複数のドクターで行っています。



お問い合わせ、ご予約

TEL.087-802-1170

受付時間：月～金 8:30～17:00

各コースには定員がありますので、ご予約はお早めをお願いします。

中央NEWS

医療セミナー

3/13 を開催しました

3月13日(金)、本院講堂において、医療セミナーを開催し、緩和ケア講演会を行いました。



講演は、まず三豊総合病院薬剤部の緩和薬物療法認定薬剤師、中西順子先生より「当院におけるオキシコドン徐放カプセルの使用状況と評価」のお話があり、次に、宝塚市立病院副院長で緩和ケア内科部長の松田良信先生と、緩和ケア病棟師長の岡山幸子先生より「①メサドンの使用の実際について②緩和ケア病棟の実務について」のお話がありました。

参加者は医師等24名で、院外からも34名の先生方にご出席いただきました。司会は緩和ケア内科の仁熊部長でした。

今後も、当院における医療を紹介するため、興味ある様々なテーマを取り上げて、皆様のお役にたつ医療セミナーを積極的に開催していく予定です。ぜひご参加ください。

ミニコンサート

5/15 を開催しました

「中山瞳 Trio JAZZ LIVE!!」

今年度も、5月15日(金)に患者サービス向上委員会主催「ほっと一息やすらぎタイム・ミニコンサート」を開催しました。今回は院長先生のご紹介で、関西・中四国を拠点に活躍中のジャズトリオ「中山瞳 Trio」様が来ていただきました。



パワフルなピアノ（中山瞳さん）、テレビでしか見たことのないコントラバス（光岡尚紀さん）、そして、ジャズ独特のリズムを刻むドラム（引田裕治さん）、1階講堂は、いつの間にか、ジャズバーのような雰囲気が漂い始めました。曲目は、耳馴染みのある曲や、中山瞳さん作曲のPachira（パキラ）など、ジャズテイスト満載の楽曲ばかり。

さて、初めてプロの方に来ていただいた「ほっと一息やすらぎタイム・ミニコンサート」。ハートの熱さ・患者さんを思いやる心は、プロもアマも関係ありません！これからも、もっとたくさん、患者さんに「ほっと一息つけるような場所」を提供していけたらいいなと思えました。



辛い下痢・腹痛・血便…。原因は、炎症性腸疾患 (IBD) かもしれません。

平成26年に当院に着任し、「IBDデータマネージャー」として当院での炎症性腸疾患 (IBD) 診療を主に担当しております、消化器内科の高橋索真 (たかはし さくま) と申します。

食生活の欧米化などの影響もあり、潰瘍性大腸炎・クローン病といったIBDの患者さんが年々増加しています。IBDの患者さんは若年で発症する方も多く、現状では完治は困難であるため、長期にわたって治療を受けていただく必要があります。IBDの特徴として、①調子がよい状態であったにもかかわらず、突然予期せぬことが起こること、②同じ病気でありながら、患者さん個々人の差が大きいこと、③病気を抱えたまま、就学や就職、あるいは結婚や出産などの人生の大きなイベントを越えていかなければならないこと、などが挙げられます。消化器病専門医であってもIBD診療に長けた医師が必ずしも多くないのは、このように病態が複雑であるため、画一的な診断と治療で対応できないことも理由の一つです。IBDの診療は、患者さんの一生を考慮しながら、適切な時期に適切な治療を選択する必要があり、適切ではない治療選択のためIBD患者さんの人生の質が低下することがあってはならないと考えております。

当院では現在、約270名のIBDの患者さんが定期的に治療を受けられており、30年以上にわたる通院歴のある患者さんもいらっしゃいます。これまでの診療経過をまとめ、IBD診療に関わるスタッフ全員で情報を共有することで、IBD患者さんに適切な時期に適切な治療を提案し、患者さんと話し合いの中でよりよい治療を選択できればと考えております。

当院では最先端の小腸カプセル内視鏡 (PillCam® SB3)、大腸カプセル内視鏡 (PillCam® COLON 2) を導入し、患者さんに負担の少ない検査を心がけています。超音波検査や便検査にてIBDの病状を把握する取り組みも、積極的に行っております。治療面においても、副作用の少ない血球成分除去療法をはじめ、タクロリムス・抗TNF α 抗体といった高い効果が期待できる薬剤の使用経験も豊富であり、効果が有望視されている新薬の治験にも積極的に参加しております。また、深い知識と経験を有する薬剤師や看護師・MSWが、薬剤の説明や医療費助成制度の相談などに応じています。

下痢・腹痛・血便などでお困りの方がいらっしゃいましたら、お気軽に御紹介頂けましたら幸いです。



小腸カプセル内視鏡
(原寸大)



小腸カプセル内視鏡検査で認められた、クローン病の病変



内視鏡センタースタッフ

認定看護師

ご紹介

慢性心不全看護認定看護師 大田真由美



集団リハビリの様子

はじめまして、慢性心不全看護認定看護師の大田真由美です。慢性心不全看護認定看護師は、慢性心不全を抱える患者の急性増悪を予防するための看護ケアを提供することを主な役割としています。慢性心不全は入退院を繰り返し気付かないうちに重症化する特徴があります。慢性心不全を抱えながら生活しなければならない患者やご家族の苦悩を理解し、制限がある生活の中でも楽しみが持てる生活を一緒に考え、急性増悪を回避して生活の質（QOL）の向上と予後改善につなげる必要があります。

当院は患者個々のライフスタイルに合わせた指導に心掛け、2013年から退院後も継続した支援が提供できるように、高血圧、冠動脈疾患などの心不全を招きやすい患者に対して、看護面談を開始しました。また、2015年から外来心臓リハビリテーションも開始し、更なる再入院予防に向けた取り組みを実施しています。

アシスタントさんの仕事

ご紹介

救命救急センター 三好 順子



「チームの一員として」

私達、病棟・外来アシスタントは現在70名、各部署1名～4名、勤務形態は病棟別、日勤・早出・遅出勤務を看護師の方と一しょにしています。主に患者様の安心安全の為の看護補助ケア等をしています。

私の職場は救命救急病棟で、病棟により少し業務が変わりますが、ひとつの仕事仲間を繋ぎ合って行う事や患者さんから「ありがとうね」の言葉をかけて頂く度にうれしくなり、やりがいのある仕事だなあと感じます。当初、私達の仕事に資格はなく医療の専門知識もない事がとても不安でしたが、定期にある「アシスタント会」でメンバーと情報を共有し、問題解決を図り、看護部の研修・演習で「チーム医療」の知識や技術を学ぶ事ができ安心して患者さんと関わることができました。

他職種の方や委託業者とのコミュニケーションも楽しく、さらに意欲を持って業務に取り組みたいと思うようになりました。

「生と死」を感じる事で厳しい一面もありますが、病棟内で支えてもらった事や仕事を通じて必要とされている事を自覚した時、責任感や使命感を強く感じるようになりました。たまには失敗することもあります。そこは「笑顔」を忘れず、患者さんのためにレベルアップを目指し、皆さんと協力しながら勤務したいと思っていますので、これからもよろしくお願いいたします。



緩和ケア研修会

平成27年 8月8日(土)・9日(日)

がん診療に従事している医療者の方を対象とした研修会を開催します。

申し込み、問い合わせは地域連携室まで。多数の方のご参加をお待ちしております。

場所：香川県立中央病院 1階講堂 費用：2日間の昼食代として2,000円の負担をお願いします。

転入

4月1日付



溝渕 光一
病理診断科

- ①岡山大学
- ②昭和55年
- ③サイクリング、読書
- ④地域医療に貢献できるように、病理の情報を発信していきたいと考えております。



塩出 壮
放射線科

- ①岡山大学 ②平成8年
- ③ドライブ旅行、ランニング、グルメ探索
- ④4月から放射線科でお世話になっております。よろしくお願いいたします。



西尾 美紀
救命救急センター／総合診療科

- ①自治医科大学
- ②平成14年
- ④香川県の皆様のお役にたてるよう、頑張りたいと思います。



橋田 真輔
消化器・一般外科

- ①徳島大学
- ②平成17年
- ④地域の皆様のお役にたてるよう頑張っています。何卒宜しくお願い申し上げます。



大森 はる代
腎臓・膠原病内科

- ①三重大学 ②平成18年
- ③テニス、旅行
- ④皆様に信頼される医療を目指して一つ一つ取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



安藤 翠
病理診断科

- ①信州大学
- ②平成20年
- ④至らぬ点が多々あると思いますが、少しでも貢献できるように努力していきたいと思っております。



佐々木 宏樹
消化器内科

- ①鳥取大学
- ②平成22年
- ③テニス
- ④皆様のお役に立てるようがんばります。



中村 英祐
腎臓・膠原病内科

- ①香川大学
- ②平成22年
- ③サッカー
- ④地域医療に貢献できるように頑張ります。



高橋 基城
整形外科

- ①自治医科大学
- ②平成18年
- ③釣り プランター菜園
- ④一つ一つの仕事を大切にしながら頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



堤 聡
腎臓・膠原病内科

- ①神戸大学
- ②平成21年
- ③家族旅行
- ④つねにベストを尽くしてがんばります。



太田 智之
形成外科

- ①岡山大学 ②平成25年
- ③つり、ギター、競馬
- ④まだまだぜんぜん未熟者ですが、しっかり勉強していきます。他科の先生方と関わることも多いと思っておりますがよろしくお願いいたします。



鈴木 優之
消化器・一般外科

- ①東京医科大学
- ②平成25年
- ③スポーツ観戦 登山 雪山
- ④頑張ります、よろしくお願いいたします。



小来田 佑哉
呼吸器外科

- ①岡山大学
- ②平成24年
- ③ドライブ、F1観戦
- ④地域医療に少しでも貢献できるように日々研鑽を重ねていきたいと思っております。



鈴木 雅美
麻酔科

- ①東京医科大学
- ②平成25年
- ③旅行
- ④早く一人立ちできるように日々頑張ります。宜しくお願い致します。



森田 啓督
小児科

- ①岡山大学 ②平成16年
- ③睡眠
- ④子供達が笑顔で元気に遊べるように少しでもお役に立てればと思います。宜しくお願い致します。



紙谷 史夏

へき地医療支援センター

- ①自治医科大学
- ②平成21年
- ③旅行、ワイン
- ④4年ぶりに奈良から香川へ戻りました。よろしくお願致します。



赤井 弘明

研修医

- ①岡山大学 ②平成27年
- ③剣道、ゴルフ
- ④少しでも早く一人前の医師として働けるように努力いたします。何卒、よろしくお願いたします。



岡田 尚大

研修医

- ①岡山大学 ②平成27年
- ③サイクリング、野球
- ④一日でも早く、医師として一人立ちできるよう、日々、勉強を重ねていきたいと思ひます。



尾上 瑠美

研修医

- ①九州大学
- ②平成27年
- ③ゴルフ
- ④日々勉強する姿勢を忘れずに頑張りたいです。どうぞよろしくお願いたします。



北山 貴裕

研修医

- ①岡山大学 ②平成27年
- ③散歩、食べること
- ④日々の診療に励みつつ、着実に成長していきたいと思ひます。よろしくお願いたします。



武田 貴志

研修医

- ①徳島大学 ②平成27年
- ③野球、テニス、ゴルフ
- ④自分のすべき事を早々に理解し、問題に対応できるよう日々勉強をしてみたいと思ひます。



谷 美里

研修医

- ①香川大学
- ②平成27年
- ③バドミントン
- ④2年間で様々なことを経験して身につけていきたいと思ひます。



中村 美織

研修医

- ①藤田保健衛生大学
- ②平成27年
- ③音楽
- ④日々努力し、できることを増やしていきたいと思ひます。よろしくお願いたします。



藤田 悠哉

研修医

- ①産業医科大学
- ②平成27年
- ③ランニング、音楽鑑賞
- ④明るく楽しく一所懸命頑張ります！宜しくお願致します。



山口 雄大

研修医

- ①産業医科大学
- ②平成27年
- ③フットサル
- ④分からないことも多々ありますが、日々勉強を続け頑張っていきたいと思ひます。



塚本 千晶

研修医

- ①自治医科大学
- ②平成27年
- ③紙細工、旅行
- ④精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



川上 翔平

研修医

- ①香川大学 ②平成26年
- ③クラシック音楽
- ④生まれ育った香川県へ貢献できるよう、経験を重ねます。熱意をもって日々精進いたします。



坂本 あすな

研修医

- ①香川大学
- ②平成27年
- ③散歩
- ④まだまだ未熟ですが精一杯頑張るので、ご指導よろしくお願いたします。

転入

5月1日付



坂根 弘祐

循環器内科

- ①岡山大学
- ②平成11年
- ③音楽・美術鑑賞
- ④皆様の健康に少しでもお役に立てるよう日々努力を続けてまいります。

転出・退職

4月30日付

横濱 ふみ

循環器内科